

私たちが小田原を案内します!



ガイドの松本和子さん  
 [NPO 法人小田原ガイド協会]に所属する私たちがガイドが小田原の街や歴史をご案内します。料金や予約法などは、HPをご覧ください。お電話で。☎0465-22-8900  
 URL: http://www.odawara-gaido.com/



大名の権力の大きさを感ずる景色だね。

最上階にぐると設けられた回廊からは360度の景色が見渡せて、まさに殿様気分。伊豆の大島から、晴れた日には、左手彼方に房総半島までが望める。



二の丸正面にある鎧門は、2つの門と土堀で敵を封じ込み一掃打尽にできる仕組みになっている。お城ファンなら必見の見どころだ。



小田原城周辺は、「城址公園」として整備されている。春は桜、夏はアジサイやハスなどの花を楽しめる。写真の橋は、昭和初期、城内に建てられた高等学校のためにかけられた。その名も「学橋」。



長尾景虎(上杉謙信)は10万もの大軍で、後に武田信玄も小田原城に迫ったが、氏康・氏政親子は籠城作戦でそれらを選けた。まさに難攻不落の城だった。(CG成瀬京司)

私たちが歩きます

kaoriさん

ニューヨークを中心とした全米&日本で活動するスタンダップ・コメディアン。YouTubeで動画配信中。



マグナス・サリバンさん

来日歴10年のオーストラリア人。中学校教師などを経て、現在は、モータースポーツの雑誌記者として活躍中。

リニューアルで人気再燃!  
3重の天守閣が白く輝く

## 小田原城

高さ約38.7mもある3重4階建ての天守閣は、昭和35(1960)年に市制20周年記念事業として江戸時代の姿が外観復興されたもの。明治の廃城以後に、これほど大規模かつ忠実に復興復元された城は、関東では小田原城が随一。その後、復元された門や曲輪も、防御用の穴や窓(狭間)、土壁の工法までみごとに再現されています。平成28(2016)年5月のリニューアルで内部の展示がますます充実したほか、外壁も化粧直しされました。以後、来場者がすでに100万人を超える人気となっています。☎9:00~17:00(入館は16:30まで)  
 ♫大人500円、小中学生200円



SAMURAIになった!次はNINJAだね。

本丸内の「甲冑・忍者の館」小田原城情報館で着付け体験もできる。☎9:30~16:00(貸出15:30まで) ♫大人300円、小人200円

なんだかほっこりできる  
プチなパワースポット

## 報徳二宮神社

天守閣脇の小径を下ること2、3分、小峯曲輪の一角に、凛とした空気の漂う報徳二宮神社があります。御祭神は小田原が生んだ偉人・二宮尊徳翁。創建は明治27(1894)年。ぜひ、その偉業と報徳の教えに思いを馳せながら、ご祈願ご祈念を。



ココにも立ち寄りを!



## 小田原城歴史見聞館

小田原城や街の歴史を模型、音声、映像で説明。☎城と同じ ♫大人300円、小中学生100円 ※天守閣、常盤木門との共通券あり



天守閣内部には武家文化や小田原の歴史を伝える貴重な展示が、甲冑、刀剣、絵図、古文書まで、歴史好きにはたまらない!



秀吉との戦いに備え氏政と氏直が整備した土塁や空堀は、総延長約9kmにもわたった。戦国時代最大の城郭であり、関東最大の「街」でもあった。(CG成瀬京司)

# 小田原を

Nakamura

歩こう!

小田原攻めに小田原評定。小田原提灯に名物かまぼこ。5代にわたる北条家が礎を築いた小田原は、歴史好きにはたまらない。史跡やスポットが満載です!



日本の古いお城に行くのは初めてです。楽しみます!

小学校の時の友達以来です。(神奈川県出身!)

It's amazing!

## 秀吉の小田原征伐は戦国時代の最終章

関東地方で最大の都市は小田原。いまはむかし、そんな時代がありました。戦国時代の末期(1500年代の後半)、後北条家4代氏政、5代氏直が小田原を治めていた時代です。交通の要衝であるこの地を手に入れようと、甲斐の武田信玄、越後の上杉謙信ら、戦国の名だたる武將が何度か小田原を攻めました。しかし、北条家が築いた小田原城は難攻不落とせなかつたのです。防御の手法は、もっぱら土塁と空堀。より堅牢な防御線とするため、その総延長はリキロにおよびました。城だけではなく城下全体を囲む総構えという方式で、防御を固めるにつれて、自ずと小田原の街は大きくなっていったというわけです。

そんな小田原城をついに攻め落としたのが豊臣秀吉です。圧倒的な兵の数にくわえて秀吉がとった作戦は、「夜で城を築いてみせる」「その城で茶会など聞き余裕を見せつける」という心理作戦。さしもの北条氏政・氏直父子も100日の籠城の末、秀吉に屈服したのです。天正18(1590)年7月のことでした。氏政と



尊徳は身長が180cm以上もあったと言われています。

生半可な動向だった報徳翁にあやかり、学業成就の経緯がたくさん奉納されている。



境内の一角に「きんじろうカフェ」が併設。尊徳が食した與汁(594円)もいただける。



かまぼこって、深い!!

昭和57(1982)年から続く、「小さな美術展かまぼこ板絵国際コンクール」の優秀作品の展示も見応えあり。



食事処「千世楼様」の小田原つくし丼(2268円)。アジのメンチを卵でとじた、1日10食限定の人気壁紙。☎0465-24-3456

小田原の名産かまぼこのすべてがわかり味わえる!

### かまぼこ博物館

かまぼこが小田原の名産になったのは江戸時代のこと。その評判は、東海道五十三次に伝わっていきました。慶応元(1865)年創業のかまぼこ生産会社・鈴廣が運営する「鈴廣かまぼこの里」内にある「かまぼこ博物館」は、まさにかまぼこのすべてがわかる殿堂。おいしい食べ方や材料に関する知識を学べたり、作り方体験も可能。各種かまぼこも購入できます。URL: <http://www.kamaboko.com/sato/>

ちよつと足さのばして.....

### 早雲寺

北条早雲の遺言に従い、氏綱が創建したとされる北条家の菩提寺。小田原征伐の際、一時的にここを本陣とした秀吉は、石垣

山城築城後一帯を焼き払った。江戸中期に北条家の子孫によって再建され、5代の供養塔も建てられた。(所在地は箱根町)



### 二宮尊徳生家・尊徳記念館

尊徳の生誕地。小田原栢山にある社会教育施設。生家の展示のほか、尊徳の生涯、村づくりの手法、貴重な遺品などが見学

できる。約1時間の解説も依頼可能。☎9:00~17:00(入館は16:30まで) 一般200円、小中学生100円 ☎0465-36-2381



食の文化、江戸の歴史、自然も堪能できます!

コンパクトなエリアに「歴史」が詰まっています!



小田原駅東口から徒歩約15分の「小田原宿なりわい交流館」。季節で開館時間が変わるのでぜひ事前確認を。☎0465-20-0515



館内に展示された小田原宿の「町割」。この施設は、国道1号線に面し、まさにこの町割のなかに建っている。

建物も一見の価値あり 小田原観光の強い味方

### 小田原宿 なりわい交流館

関東大震災で被害を受けた建物を昭和7(1932)年に再建した旧網問屋。「出桁造り」という、小田原地方の典型的な造りの商家を再利用した施設です。無料で休憩ができるほか、20軒ある「街かど博物館」の情報も収集可能。12月31日と臨時休業を除き年中無休。



海外のSNSで「魔法の窓だ!」と話題になったんだって。

誰が呼んだか“魔法の窓”

### 御幸の浜

明治6(1873)年に明治天皇・皇后がおそるいで小田原をご訪問されました。以来、御幸の浜と呼ばれるように。西湘バイパスのトンネルを抜けると窓を開けたように突然青い海が広がる。



ココも小田原城の一部です! 現存する国内最大の空堀

### 小峯御鐘ノ台 大堀切

小田原駅から北西へ徒歩20分ほどの場所に北条氏が築いた巨大な空堀が残っています。現存するものとしては国内最大級で、幅20~30m、深さ12m、V字法面の傾斜は最大50度もあります。東堀、中堀、西堀と続く巨大かつ複雑な構造で、秀吉の攻撃に備えるために完成させたと言われています。敵の見通しをさえぎる「横矢掛り」などの仕掛けも残っており、国指定史跡になっています。



こんな歴史遺産を実際に歩けるなんて驚き!

小田原駅からタクシーで約15分(1500円) 2000円程度。早川駅、板橋駅から約10分(1000円程度)。公園駐車場から天守台までは徒歩約20分。



双眼鏡があれば、東京スカイツリーまで見えるんだって!

小田原城を見下ろす山腹にいまなお残る戦国の余韻

### 石垣山一夜城 歴史公園



標高255mの本丸から見下ろした二の丸。秀吉はこの城に千利休や天皇の勅使、さらには側室の淀君まで呼んで茶会や宴を開いたと言われている。

豊臣秀吉の天下統一に最後まで抵抗した北条家。天正18(1590)年、いよいよその北条家を、15万とも20万ともいわれる大軍で、陸海の四方から包囲した秀吉。その本陣の地に秀吉を選んだのが、小田原城下をひと目で見渡せるこの石垣山でした。実際は、約80日をかけて築城したようですが、小田原城から見えぬように築城を進め、ある日突如周囲の木を伐採。あたかも一夜にして城ができたように見せかけたのです。敵の戦意をそくための秀吉の奇策……。大河ドラマなどでもしばしば描かれる戦国時代を象徴する逸話です。



かなり急な山道もあるから、歩きやすい靴でね。

この城は、関東で初の総石垣造り、秀吉も長龍戦になることを覚悟していたのかも知れない。

関東大震災にも耐えた野面積み石垣の一部は、いまも当時の姿をとどめています。



小田原攻めに参じた武将は、徳川家康、細川忠興、毛利輝元とそうそうたる顔ぶれだった。(CG成瀬京司)

弟の氏照は切腹。その翌年、氏直も大坂で病死します。この北条家の敗北によって、100年にわたる戦国時代は事実上終わりました。歴史が大きく動いたその舞台がここ小田原だったのです。

東海道で最大の宿場街で「なりわい」が発展 江戸時代、主に小田原を治めたのは大久保氏でした。昭和35(1960)年に復興された天守閣も、宝永期(1704~1711)、大久保氏によって整備された城が原型です。江戸時代の小田原は、一万石の大久保氏の城下町であったと同時に、大動脈・東海道の宿場町としても発展し大いに賑わいました。その規模は、五十三次中最大級でした。明治まで続く賑わいのなか、地場産業「なりわい」が発展していき

ました。名物の小田原提灯、梅干し、かまぼこなどはその代表格です。現在も続く、食品や工芸のなりわいを市内に20カ所ある「街かど博物館」で、見たり、買ったり、体験することが可能。「小田原宿なりわい交流館」で事前に情報を集めて、歴史散歩に出かけてみましょう。

表玄関

# 小田原駅にもある こんな見どころ

小田原の礎を築いた北条早雲の銅像が小田原駅西口前の広場に建つ。馬上の勇姿はさすがの戦国武将！



小田原城を目指して歩き始めるとすぐにある、駅前商店街のアーケードには、歴代小田原城主の家紋が見られる。



JR在来線改札の上には巨大な小田原提灯が、丈夫で小さくためる小田原提灯は、江戸時代のメカヒット製品。



東西連絡通路の天井に片岡鶴太郎さんが原画を描いた陶板レリーフが。表題は「小田原讃歌」。

JR東海道線に新幹線、小田急線に箱根登山鉄道、そして伊豆箱根鉄道の5線が集まる小田原駅。そんな小田原の表玄関にも、見どころが満載！

ココにも立ち寄りを！

## 創業80年！

### 伊勢屋の豆大福

昭和10(1935)年創業の和菓子店。「その日に食べて頂く分だけをつくって売る」という初代の教えを今に引き継ぐ。材料は厳選、添加物はほとんど使わない。創業当時から変わらぬ味の豆大福は1個156円。



ワタシも小田原駅で  
お迎えしますよ。

